だき、心から感謝申し上 げます。 にご理解とご協力をいた 日頃から、 市政の推進

間:平成2年度~令和8 画に基づいて、まちづく 年度)を策定し、 画となる「名寄市総合計 見を反映した、最上位計 多くの市民の皆様のご意 本市では、平成29年に (第二次) 」 (計画期 総合計

りのさまざまな分野における各種施策及び事業の推進に努め てまいりました。 この総合計画は「10カ年の基本構想」

「前期・中期・後期

めてまいりたいと考えております。 次)」(計画期間:令和9年度~16年度)を策定することと の基本計画」と「実施計画」で構成され、 しており、 って計画期間が終了いたします。 そのため、本年から2年間かけて「名寄市総合計画 多くの市民の皆さまの参画により計画づくりを准 令和8年度末をも (第 三

の満足度や幸福度、 ただきますようお願い申し上げます。 えておりますので、調査の趣旨をご理解いただき、 などについて、アンケート調査によりご意見を伺いたいと考 つきましては、総合計画策定の参考とするため、 まちづくりに関する皆さまの今後の意向 各種施策 ご協力い

今後も市民の皆さまとの協働のもと、 の策定に取り組んでまいります。 名寄市総合計画 (第

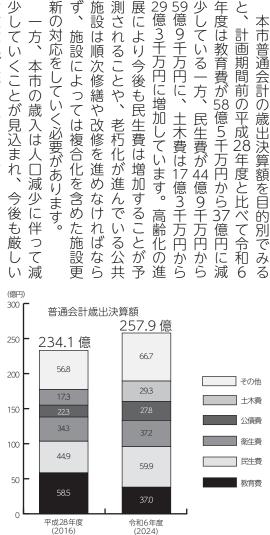
名寄市長 令和7年11月 加藤 剛士

財政状況が続くと考えられます。

ます。

財政の状況

59億9千万円に、土木費は17億3千万円から 少している一方、民生費が4億9千万円から 新の対応をしていく必要があります。 測されることや、老朽化が進んでいる公共 展により今後も民生費は増加することが予 29億3千万円に増加しています。 年度は教育費が58億5千万円から37億円に減 施設は順次修繕や改修を進めなければなら と、計画期間前の平成28年度と比べて令和6 本市普通会計の歳出決算額を目的別でみる 施設によっては複合化を含めた施設更 高齢化の進



(%) \D (\) 総人口の推移 40,000 40 30,000 30 20,000 20 10,000 10 0 平成7年 (1995) 平成22年 平成27年 (2010) (2015) 令和2年 (2020) 令和32年 (2050) 平成12年 (2000) 平成17年 (2005) 年少人□ (0~14歳) 老年人□ (65歳以上)

の推移

ると予測しています。 少が続いており、平成27年に3万人を下回 令和32年には総人口が1万7272人にな り、令和2年は2万7282人となっていま 年には3万7194人でしたが、その後減 によると、本市は今後も人口減少が続き、 旧風連町を含む本市の総人口は、平成2 国が令和5年に示した将来人□推計結果

める高齢者人口の割合)は上昇を続けてお 少に転じていますが、 り、令和2年には32・2%となり、 移していた高齢者の人口は令和2年には減 和3年には3・2%に達すると見込まれてい 少子高齢化の進展に伴い、 高齢化率(総人口に占 増加傾向で推 その後令